

シンポジウム

科学技術社会のリスクに対処するために認知科学ができること

企画・司会： 岡田猛(東京大学)

鈴木宏昭(青山学院大学)

企画： 植田一博(東京大学)

話題提供： 中谷内一也(同志社大学) 社会心理学、リスク認知

田中淳(東京大学) 災害情報論、社会学

平川秀幸(大阪大学) 科学技術社会論、科学コミュニケーション

指定討論： 植田一博(東京大学) 認知科学、認知脳科学

橋田浩一(産総研) 認知科学、人工知能

東日本大震災や福島原発事故に代表されるように、現代の科学技術社会には様々なリスクが存在している。このようなリスクを個々人はどう捉えるべきなのか、リスクの少ない社会を作るために、専門家と市民との間にはどのようなコミュニケーションが必要なのだろうか、どのようなシステムを作れば、リスクの回避や低減が可能になるのだろうか。このような問いに答を探すことは、認知科学においても重要な意義を持つと思われる。

今回のシンポジウムでは、リスク認知やリスク回避の意思決定や専門家と市民のコミュニケーション等に関連して第一線の研究を行ってきた、社会心理学、災害情報論、科学コミュニケーションの各専門家に話題提供を行っていただく。

その後、そのような隣接領域の専門家による話題提供に基づいて、このような問題に対して我々認知科学者は、どのような認知科学的研究をすべきなのか、あるいはどのような研究が可能であるのかといった点について、二人のコメンテーターが提言を行う。